

# 人間ドックの費用を助成

## 助成の趣旨

人間ドックの費用を助成することにより疾病の早期発見・早期治療を支援しています。

また、人間ドックの結果を特定保健指導(P26～27参照)の基準にあてはめ、対象となった場合は、特定保健指導を受けていただくようにし、生活習慣病等の早期改善を支援していきます。

注意:人間ドックの助成を受けるご予定があれば、**特定健診(P26参照)は受診しないようにお願いします。**

## 助成対象者

次の条件を全て満たす人

- 1 令和6年度末の時点で40歳以上の人
- 2 受診日または受診予定日の時点で国保に加入している人
- 3 保険税を完納している人

※ 令和5年度に人間ドックの助成を受け、特定保健指導の対象となった人については、その特定保健指導を終了、または高血圧、高血糖、脂質異常の治療・服薬をしていることも、助成の条件となります(特定保健指導を終了するまで、概ね3か月必要ですので、お早めにご利用ください)。

## 助成金額

人間ドックの費用(消費税を含む)の7割の金額。

ただし、助成金額の上限は24,000円。1人につき1年度(4月～翌年3月)に1回限り。

## 助成の手続き

- 1 人間ドックを受診、費用支払いの後、翌年度の5月末までに国民健康保険課で助成金の支給申請をしてください(郵送可)。助成の対象となる人間ドックは「特定健診」の検査項目(P26参照)を全て含むものです。全国の医療機関等での受診が対象となります。

申請に必要なもの

- 保険証
- 人間ドック検査結果
- 人間ドック費用の領収書
- 振込先のわかるもの(受診者の口座)

- 2 市保健センター、第二協立病院予防医学センター、ペリタス病院で受診する場合は、以下の方法でも助成を受けることができます。人間ドックを予約後、国民健康保険課で助成券の交付申請をしてください。助成券は郵送で交付します。

注意:助成券の申請は、予約日の2週間前までをお願いします。

市保健センターでは約1万円で受診できます!!

申請に必要なもの

- 保険証

受診医療機関	受診費用	助成額	差引自己負担金額
市保健センター 半日	34,800円	24,000円	10,800円
第二協立病院 予防医学センター ペリタス病院	各医療機関にお問い合わせください。	人間ドック 受診費用の7割 (上限額24,000円)	受診費用から 助成額を 差し引いた額

注)医療機関によっては、他のコースやオプション検査があります。検査項目など詳しくは、各医療機関にお問い合わせください。

# 川西市民は、がん検診を無料で受診できます

川西市民は、市保健センターや市内委託医療機関で実施している各種がん検診を無料で受診できます。

特定健診と併せて受診し、疾病の予防、早期発見にお役立てください。

受診期間は、4月～翌年3月末(市保健センター以外で受診する肺がん・前立腺がん・子宮頸がん・大腸がん検診は2月末まで)です。

注意:受診できるのは1年度(4月～翌年3月)に1回限り。

人間ドックの助成を受けるご予定があれば、人間ドックの検査項目に含まれているがん検診については、人間ドックで受診していただくようお願いいたします。

## 川西市民が無料で受診できるがん検診

検診名	無料となる人
肺がん検診	満40歳～満74歳
前立腺がん検診(※1)	満50歳～満74歳の男性
胃がん検診(※2)	満40歳～満74歳
子宮頸がん検診	満20歳～満74歳の女性
大腸がん検診	満40歳～満74歳
乳がん検診(※3)	満40歳～満74歳の女性

※1 前立腺がん検診を無料で受診できるのは国保加入者に限りです。

※2 内視鏡検査は満50歳以上の方が対象。(2年度に1回の受診)

※3 2年度に1回の受診。

# 禁煙外来の治療費を助成

## 助成内容と金額

市国保加入中に禁煙外来で自己負担した医療費(保険対象外の費用除く)で上限1万円

## 助成人数

先着50名

## 手続き

治療開始前から終了後に交付申請書を提出し、治療終了日から3か月以内に医療費の領収書写しとともに請求書を提出すること。

## ご注意

現在、一部の禁煙治療薬が出荷停止となっていることにより治療の受付を停止している医療機関がありますので、事前に医療機関へ確認してください。